A グループ（鷺沼駅周辺の文化・交流・コミュニティ機能・子ども・子育て機能・行政サービス・相談機能）

資料２

Colors, Future!
いろいろって、 未来

多様性
多世代

未来型図書館＋ワーキングスペース

- IT が活用できる→wi-fi 機能
- 民間シェアオフィスの活用→市が保有せず誘致する（インセンティブが必要）
- 使い方によってスペースを分ける →読書、学習、幼児・子どもなどスペース
- 学習ができ、ワーキングスペース的な機能を付加
- スモールワーキングオフィスを置く→特にお客様と打ち合わせの場や作業や打ち合わせの場
- 多様なコラボレーションが可能な場としてのワーキングスペースとする→フリーのワークスペースとする→ちょっとした会議→お茶を飲みながらの意見交換の場など
- 図書館、ワーキングスペース、勉強とワクは必要ない
- 図書館のビジネス支援機能強化→シェアオフィス的機能を持たせる
- 利便性の高いところに“働く場”を設けることでまちを活性化させる →地元で働けることによる働き方革命
- ワーキングスペースとつながった図書館
- ビジネス支援機能
- 川崎市視覚障害者情報文化センターの分室機能を持つ
- 生涯教育を受けられる

広 場

- 広場を使う人が時代によって機能は変わっていくと思うので、 あまり制限を付けない広場があると良いと思う。 とくに機能等をきめず、 ただ、”広場”があれば良いと思う！ イメージは、ヨーロッパのロータリー型広場のような感じ
- 多様性のある多世代の交流→日本人だけでなく外国人もという視点が大切
- 区の機能が集積する駅前に →買い物や申請の際に子どもを遊ばせながら休めるスペースをつくる
- おかしや飲める場所
- 広場の周りに 商業施設 カフェなどのお店
- 当たり前に居られる→広場のような、みんなにとっての居場所→中学生も区内で過ごせる
- 多くの人が集まる駅前に →同分野、他分野の人たちと情報交換する場をつくる
- 多機能に対応する→待ち合わせ場所→集会・打ち合わせの場→働ける場→イベントの場
- フリースペース
  - ・有料 2h/100 円
  - 12h/600 円
  - ・無料
- 多くの人が集まる駅前に→広場や公園を整備する
- 利便性の高いところに →多様な人が集え、憩えるオープンスペースが必要
- 多様性（異文化交流）から創造性（宮前の特性の創 造）へつながるス ペース広場
- 多様性（含多世代 ・ 外国人）のある出会いのスペース
- 老人いこいの家 鷺沼地区にもスペースを
- 赤ちゃん～大学生、子育て世代で使える広場がほしい→お金をかけずに集まっていられる場所
- ぽんおどり
- 中高生たちにも 使われるスペース

相談窓口

- 行政窓口（障害者、高齢者、 赤ちゃんがいる人、外国ルーツの人が相談、アクセスしやすい
- 無人化されたものではなく→対面で相談できる窓口→外国人のための多言語対応スペース
- 市民活動を支援する行政機能（許可 ・ 認可 ・ 支援の相談窓口 ・ 申請窓口）
- 老人いこいの家が他区よりも少ない→行きたくても行けない障害者の交流の場所をつくる
- 交通弱者（子育て・ 障害者 ・ 外国人 ・ 高齢者等）への行 政 ・ 相談機能
- 障がい者や高齢者、外国の方が簡単にいける場所（駅の近く）に行政サービス機能を設置→子育て →福祉 →外国人など（多言語対応）
- 外国人のための相 談サービス（日本語学級）担当部署が区役所にないため
- LGBT の方からの意見を聞く（市民館で講座をやっている/なないろホタル）
- 外国人のための→日本語識字学級→ネットによる多言語対応
- 多様性・多世代交流 →人種・信条・性別・年 齢等による差別をしない
- 子育て相談（外国人にも考慮）→多言語対応

ホール

- 市民活動の活性化 →音楽などの発表や練習の場が利便性の高いところにある →区内の芸術家や団体の活動を支援する
- 様々な人材が集まるように→いい人材を集める
- 区内の中学校の吹奏楽部の発表＋区内の音楽家の音楽がきけるように
- 音楽などの発表や練習の場が利便性の高いところにあると市民の活動が活性化できる→区内の芸術家や団体の活動を支援する
- 音楽 ・ 芸術 交流できる場所
- 区役所前にいまあるスペース＋あずまや→ガラス窓の前で踊るなど
- 多くの人が集まる駅前に →近隣の芸術家や団体、 個人が気軽に練習、発表、 交流ができるスペースを つくる →講座・教室が開けるスペースをつくる
- 音響を完備したホール →ピアノがある練習室

凡例

- 新規ポストイット
- 一番シール
- 重要シール
- 前回意見の整理
- １．内容
- ２．解決の方向
- ３．こだわりのポイント